

(Intermediate stage 肝細胞がんに対する局所凝固療法の有用性の検討) に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センター・帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年6月28日～2026年9月30日

〔研究課題〕

Intermediate stage 肝細胞がんに対する局所凝固療法の有用性の検討

〔研究目的〕

中等度進行肝細胞癌の治療法として、ラジオ波焼灼療法やマイクロ波凝固療法などの、局所凝固療法が従来より行われています。しかし肝癌診療ガイドラインでは中等度進行肝細胞癌の標準治療法として記載されているのは、肝動脈化学塞栓療法、外科的切除と動注化学療法のみです。これは局所凝固療法の治療効果を正確に解析した研究が行われていないことが原因です。本研究では局所凝固療法の有効性を、肝動脈化学塞栓療法と正確に比較し検討します。

〔研究意義〕

この研究を行うことにより、所凝固療法の有用性があきらかとなれば、肝細胞癌の効果的治療選択による予後改善に結び付く可能性があります。

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学系研究倫理委員会承認後から2024年3月31日までに、帝京大学ちば総合医療センター及び帝京大学医学部附属病院に入院し、治療を受けた肝細胞癌で以下の基準を満たす20歳以上の患者が対象となります。

- ①Child Pugh-A または B
- ②腫瘍数4個以上かつ腫瘍数と腫瘍径(cm)の和が7以下(up-to-7 in)
- ③全腫瘍結節に対し局所凝固療法(ラジオ波焼灼療法あるいはマイクロ波凝固療法)、または肝動脈化学塞栓療法で治療予定
- ④初発、または根治治療後半年以上経過し再発

〔研究機関名〕

○主たる研究機関

岡山大学病院 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 研究機関長 前田嘉信 伊達勲

研究代表者 岡山大学病院 消化器内科 講師 大西 秀樹

○共同研究機関

近畿大学消化器内科、順天堂大学消化器画像診断・治療学、千葉大学消化器内科、山口大学臨床検査・腫瘍学、東京大学消化器内科、岡山市立市民病院、岡山済生会総合病院、岡山赤十字病院、姫路赤十字病院、香川県立中央病院、倉敷中央病院、住友別子病院、広島市立広島市民病院福山医療センター、福山市

民病院、三豊総合病院、北海道大学消化器内科、手稲溪仁会病院消化器病センター、岩手医科大学消化器内科、仙台厚生病院肝臓内科、群馬済生会前橋病院消化器内科、帝京大学ちば医療センター内科、三井記念病院消化器内科、帝京大学医学部附属病院、武蔵野赤十字病院消化器内科、済生会新潟病院消化器内科、金沢大学消化器内科、藤田医科大学消化器内科、三重大学消化器内科、大阪国際がんセンター肝胆膵内科、兵庫医科大学放射線科、兵庫医科大学消化器内科、和歌山労災病院肝臓内科、徳島県立中央病院消化器内科、高松赤十字病院消化器内科、済生会西条病院内科、愛媛県立中央病院消化器病センター内科、大垣市民病院消化器内科、鹿児島市立病院消化器内科、新潟大学消化器内科、日本赤十字社医療センター消化器内科

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に使用する情報は、前述の共同研究機関と共有させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：

- ・帝京大学ちば総合医療センター内科教授 小尾俊太郎
〒299-0111 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211
Email: obis@med.teikyo-u.ac.jp
- ・帝京大学医学部内科学講座准教授 浅岡良成
〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211
Email: y-asaoka@med.teikyo-u.ac.jp